

災害派遣

令和2年（2020年）7月豪雨に伴う災害派遣



方面總監統率方針
任務完遂

発行所

〒664-0012 兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1
兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1
電話：072(782)0001
陸上自衛隊
中部方面總監部広報室



補給大隊による入浴支援

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、熊本県にて7月7日（火）から21日（火）の間、令和2年（2020年）7月豪雨に伴う災害派遣任務として、入浴支援及び給水支援に従事した。また、現地に派遣されなかった部隊も現地へと前進する部隊への燃料給油や交通統制等の支援を経由地となる各々の駐屯地や交通統制等の活動を通じて約1300名の入浴支援及び約14tの給水支援に寄与した。



災害派遣に前進する部隊



交通統制を行う地区警務隊



現地へと前進する部隊への燃料給油



第8高射特科群による給水支援



入浴施設の消毒を行う隊員



装備品を整備する隊員



教育支援を行う第7普通科連隊



講演を行う第3戦車大隊副大隊長

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、第一波が収まりつつあった6月下旬から7月上旬にかけて市や警察の依頼に基づき、新型コロナウイルス感染症対策に係る教育支援及び講演を実施した。教育支援については、7月8日（水）に京都府警からの依頼に基づき、第7普通科連隊（連隊長 小野田1佐）が衛生小隊長以下3名により、警察官約20名に対して感染防護に関する衛生上の留意事項を普及した。

講演については、6月30日（火）に滋賀県高島市からの講演依頼に基づき、第3戦車大隊（大隊長 鈴木1佐）が副大隊長により高島市職員約50名に対して新型コロナウイルス対処における自衛隊の活動、教訓等について紹介した。

4月以来実施してきた教育支援や講演は合計28回を数え、地元の信頼を深めることに寄与している。

**新型コロナウイルス対処に
資する教育支援及び講演**



警戒部隊の駆逐



患者収容所の開設

中部方面混成団（団長 芝1佐）は、7月2日（木）から10日（金）までの間、日本原演習場において、第47普通科連隊（連隊長 佐藤1佐）の訓練検閲を実施した。

本検閲では、常備自衛官の他に、即応予備自衛官約140名が参加し、その練度を向上させた。



2 1/2号連鎖爆破薬の運搬



2 1/2号連鎖爆破薬の爆破の瞬間

第4施設団は、6月21日（日）から24日（水）までの間、東富士演習場において方面施設科練度維持訓練（後段）を担任・実施した。

この間、中部方面管内の各施設科部隊の障害構成及び爆破薬を使用した障害処理能力の向上を図った。

中部方面混成団訓練検閲

施設科練度維持訓練（後段）

第13旅団訓練検閲



第8普通科連隊（重機関銃陣地（対地上））



第13後方支援隊（航空機の回収）



第13施設隊（07式機動支援橋の展開）

第13旅団（旅団長 山根陸将補）は、6月26日（金）から7月1日（水）までの間、第1次訓練検閲をあいば野演習場において実施した。

本訓練検閲により、第8普通科連隊（連隊長 天内1佐）、第13後方支援隊（隊長 村中1佐）及び第13施設隊（隊長 竹内2佐）に対して、旅団の陣地防衛を主体とした戦術行動の練度向上を図るとともに、現在の練度を評価・判定した。



目標の搜索等を行う03式中距離地对空誘導弾

第8高射特科群（群長 押川1佐）は、7月13日（月）から17日（金）までの間、航空基地及び青野原駐屯地において令和2年度方面対空戦闘訓練を担任・実施した。

この訓練には第13高射特科中隊及び第14高射特科隊が参加し、目標機を活用した対空戦闘や対空レーダーによる対空監視要領の練度向上を図った。

方面対空戦闘訓練

ふあみさぽ通信 (連載：第44回)

海田市駐屯地業務隊

海田市駐屯地業務隊は、広島県全域を担当地域として、様々な家族支援施策に取り組んでいます。

例えば、家族会会員と隊員家族との連絡の仲介です。隊員家族達は、家族会会員との顔合わせ会同に様々な理由でなかなか参加ができません。このため、業務隊が隊員家族から個人情報提供に関する同意書を受領し、近傍の家族会会員に連絡先等を通知します。その結果、近傍の家族会会員が直接隊員家族に連絡し、顔合わせが輕易にできるようになりました。

また、特定非営利法人キッズNPOとの連携です。令和2年2月に行われた緊急登庁支援訓練において、NPOから2名の保育士の支援を受けました。訓練では「大規模災害時等における派遣隊員の子供一時預かりに関する協定書」の内容確認、子供の一時預かり施設の開設要領及び勤務する面倒見隊員が留意すべき事項について助言をもらいました。

今後も、海田市駐屯地業務隊は、隊員が安心して任務にまい進できるように、関係部外団体との更なる連携の強化に努めていく所存です。



家族会会員と隊員家族との顔合わせの様子



子供の一時預かりの様子

俺を見ろ



中部方面後方支援隊 (桂駐屯地) 1等陸尉 濱本 佑介

第一〇七全般支援大隊において、整備中隊長を拝命し約1年が過ぎようとしています。昨今、少子高齢化の進展等により自衛官の募集環境は厳しい状況であると認識しています。実際、私が上番した年は、年間5名の自主募集情報しかありませんでした。

この状況を打開すべく、隊員自主募集の情報提供が増えない理由を調べてみました。一番の要因は、自主募集情報を提供する要領が分からないという隊員が多かったということです。これを踏まえ、朝礼等を活用し、厳しい募集状況を認識させ意識改革を助長しました。また、休暇前教育の機会に、自主募集要領を教育し、自主募集情報の記入例と記入用紙を渡しました。

休暇後、対象者と年齢の近い比較的若い隊員が自主募集の情報を提供してくれ、中隊目標である年間24件の情報を獲得できました。このことから隊員に情熱をもって説明すれば、隊員を動かせることと再認識しました。

これからも募集だけにとどまらず、隊務全般において中隊の問題点を案出し、中隊一丸となって任務達成できる部隊を目指し、精進して参ります。

うちのご飯 「大津駐屯地」



写真中央：赤こんにやくと ちょうじふ 丁子麩の酢味噌和え

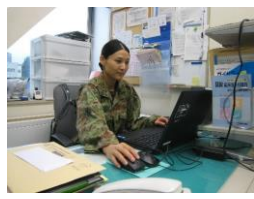


大津駐屯地は東側を琵琶湖、西側を比叡山で囲まれた風光明媚な滋賀県大津市に位置し、方面隊唯一の教育部隊が主力として所在している駐屯地です。毎年3月下旬には新入隊員約500名が着隊し、駐屯地の繁忙期を迎えます。

ここ滋賀県の食材には、日本三和牛の一つ「近江牛」を始め、「赤こんにやく」、「丁子麩」、「鮎寿司」、「日野菜漬」、「えび豆」などがあります。その中でも赤こんにやくを使用した「白和え」や「丁子麩との酢味噌和え」などオリジナル献立も多く、新隊員達は初めて食べる食材の色や食感に驚きます。

赤こんにやくは、滋賀県では有名な食材で、派手好きの織田信長がこんにやくを赤く染めさせたという説があり、普通のこんにやくよりも鉄分が多く身体を酷使する隊員にはお勧めの食材です。大津駐屯地に業務や入校でお越しの際は、是非食事をお楽しみ下さい。勤務員一同お待ちしております。

わひらわひら★プレイヤー



第13旅団司令部 海田市駐屯地 2曹 山本 恵美

私は現在、海田市駐屯地に所在する、第13旅団司令部医務官室で、文書陸曹として勤務しています。医務官室での業務は主として、第13旅団管内隷下部隊に対して行う健康管理業務の補佐や、文書管理、総務関係業務などを行っています。

医務官室での仕事には、主な業務である健康管理に関する知識はもろんのこと、各種規則や通達類の理解、医務官を補佐する様々な業務に関する知識が必要になります。私は、文書陸曹として、もうすぐ一年が経とうとしています。日々新しいことが連続する中で、知識の向上に努めている毎日です。

また、プライベートでは、私は二人の娘がおり、夫も単身赴任中のため、仕事・家事・育児に奮闘する毎日を送っています。仕事と家庭を両立させることは、とても大変だと日々感じています。職場では頼りになる同僚や先輩、上司の方々に恵まれています。医務官室業務も大変勉強になることが多く、毎日がとても充実しています。これからも、自衛官として、母親として、更に向上していけるよう頑張っていこうと思います。



愛娘との写真